

受験の季節

受験はもう終わった、と勘違いしている人はいませんか？実は、これからが受験の本番です。もちろん、AO入試や推薦入試はもうあらかた終わっていますが、受験のメインである一般入試はこれからですよ。世の中の受験生は、間近に控えたセンター試験で、緊張感がピークになっているところです。本校でも一般受験で受験する生徒諸君は今、懸命に頑張っています。AOや推薦試験ですでに決まっている3年生諸君は、現在必死に勉強に取り組んでいる一般受験生と、進路先で一緒に勉強することになることを常に忘れずに、残りの高校生活の中で学力を身につけて卒業して下さい。学力のない大学生ほど惨めなものはありませんから。2年生諸君は一年後には受験の季節を迎えることになります。今回は一般入試の仕組みについて概略を説明しておきましょう。

1) 国公立大学、国公立短大受験

*センター試験を必ず受験する必要があります。

①国立大学センター受験科目

大学によって受験科目に多少のバラつきはありますが、ほとんどの場合、5教科受験が必要です。

理系：英、数Ⅰ、数ⅡB、国語（現代文、古文、漢文）、理科（物化生地応用科目）の内から2科目、
社会（地歴・公民）の内から1科目

文系：英、数Ⅰ、数ⅡB、国語（現代文、古文、漢文）、理科（物化生地基礎科目）から2科目、社会
（地歴1科目、公民1科目）

•センター試験の自己採点の結果を見て、合格できそうな大学に1月下旬から2月初旬に出願します。難関大学については、足切り（センター得点何割以下は出願できない）を課しているところもありますが、多くはどんな得点であっても、出願はできます。前期・後期いっしょに出願します。

•ほとんどの大学で2月下旬に2次試験（前期試験）が課されます。

受験科目⇒理系：大学、学科によってバラつきがありますが、数学Ⅲ、理科がメインになります。

文系：大学、学科によってバラつきがありますが、国語、英語がメインになります。

後期試験（3月）では、特に文系の場合、小論文のみになるところがあります。

•センターと2次試験の割合

難関大になるほど、2次試験の比率が高くなります。地方国公立の場合にはおよそ半々くらいで考えておけばいいでしょう。また、センターの得点は学部・学科によって科目の比率が変えられるのがふつうです。（例：理系 数学400点、英語200点、国語100点というように）

•抱える科目数が多く大変そうですが、総得点で合否が決まるので、科目の得点バランスが良かったりすると総点が伸びたり、一部の教科の失敗が、他の科目で補えたりする利点もあります。

② 公立大学・公立短期大学センター受験科目

大学や学科によってかなりばらつきがありますが、国立大より少ない受験科目で受験できます。

文系：英語、国語（現古漢）、社会、（数学、理科）のうち1科目

理系：英語、数学（IA, IIB）、理科、（社会、国語）のうち1科目がメインになります。より私立型に近く、私大受験希望者が併願をかけてきます。

短大については、さらに科目数が絞られ、文系であれば英国2科目受験がメインとなります。

- ・ 国立大と同じく、2次試験が課される場所もありますが、センター試験の得点だけで決まったり、2次試験が面接だけというところも多いでしょう。ただし、理系の場合は2次試験が課される方が多いと言えます。（数学 or 理科）。よりセンター試験の重みが大きいのが特徴です。

2) 私立大学、私立短大受験

*センター利用と一般受験の2種類の形がとれます。もちろんのその両方も可。

私大の受験科目はセンターにしる、一般受験にしる、少ないのが特徴です。

一般受験の場合、文系なら英、国、社のうち2科目か、そのうちの1科目。理系なら英、数、理のうち2科目か、そのうち1科目が大半でしょう。また、英語が筆記のみとか数学がIAのみとか、国語が現代文のみとか、科目を限定して許可する大学さえあります。

一般的に、私大受験は自分の得意科目がはっきりある人は強いと言えます。この科目だけは誰にも負けないというものがあると、結構苦手があっても合格できてしまうところもあります。

*センター利用受験について

最低1～2科目受験でも受験科目になる場合がありますが、3教科以上が多くなります。科目数が多いほど、ボーダーの得点率が低くなる傾向があります。ですから、私大でもセンター利用を考える場合には、国立型の受験科目で受けるのがベストです。より広い大学学科の合格可能性もできます。逆に科目を絞り込みすぎると、選べる大学が少なくなるので注意すべきでしょう。

*大学個別受験

現在大学ごとで受験機会を増やすために、・・・日程試験というような名前で、様々な試験方式をとっています。私大は受験料収入がとても大きいようなので、それが大きな理由だと思われます。教科目の組み合わせも様々ですから、よく調べて自分に合った受験方式を選ぶことが重要です。

前に触れたように、文系なら英国社のうち2科目、理系なら英数理のうち2科目受験のパターンが多いかと思われます。もちろん、科目数が少ないので、受験生は得意科目で受験してきます。そのため、一般的にはボーダーが上がってくることに注意すべきでしょう。また、人気私大の場合には、問題が難しくなり、センター以上の高度な知識や学力が求められます。



3) 看護・医療系専門学校受験

一般的にセンター試験の利用はできません。個別試験のみになります。試験日時や試験内容については学校によって様々ですが、受験科目については、国語(現代文のみが多い)、数学(Ⅲは問われない)、英語(リスニングはない場合が多い)、理科(化学、生物のいずれか)の全部もしくはその中の2から3科目の選択受験となります。問題の難易度についても様々ですが、センター試験よりやや易しいか、高校の学習内容の基本が問われる問題が多いと言えます。しっかりとふだんの学習内容を身につけて、過去問や類問を繰り返してやっていけば十分に対応できます。試験日は1月中旬から2月中旬までが多いでしょう。

4) AO・推薦受験

AO・推薦受験はいけないの?という人がいるかもしれませんが、そんなことはありません。受験チャンスが増えるわけですから、条件にあうのなら大いにチャレンジしてもらって結構です。ただし、最終的には一般受験だという意識をもって取り組んでほしいのです。受験勉強が必要ないから(勉強したくないから)という理由で選ぶのは絶対にやめてください。あるいは、早く決めてバイトしたいなどという不屈きな発想も絶対に止めてほしいところです。そんなことは表立っては口に出さないでしょうが、密かに考えている人もいるのではないのでしょうか?目指すときには、是非高い目標をすえて試験のワンチャンスと考えて挑戦してください。

大学等に行く以上、一定の学力はどうしても必要になります。中学校の英文法もろくすっぽ分からない人が大学に行ったら困りますよね。しかし、残念ながら、実態はその困った状態にあるのです。高校で身につけるべき学力のないまま、大学生をやっている人が結構いるのです。大学はなぜその困った状態にいる学生を入学させてしまうのでしょうか?こんなこと言うと、大学の先生に怒られそうですが、恐らく、大学の経営のためでしょう。大学によっては、授業で中学校の復習をやらせているところもあると聞きます。大学生がですよ。また、大学生の中退理由の第1位が勉強についていけない、ということだということも知っていましたか?皆さんには、AO・推薦受験を利用してもらっているですから、そんな後ろ指をさされないだけの学力を身につけて挑戦してほしいと思います。ですから、最終的には一般受験で受けるんだという気概と受験勉強に取り組んでほしいのです。